



捷徑論

全

1323



捷徑論

田維正著

門口仁9  
號/323  
卷



夫天地既成其陰陽已分  
 滯物既成其地定之物  
 神之中生也此一靈也  
 神之中生也此一靈也  
 小常之道也此天地之中  
 此之謂也第一小使極尊  
 之神也此之神也此之神  
 此之神也此之神也此之  
 生一也此之神也此之神  
 五行之也此之神也此之  
 二氣之也此之神也此之



元々別具を神の守りたる物なりと云ふは元々  
夫の如く春を社人にも春に仁我終智なり  
天地の地生るに万物の成りしを以て  
と名付く神と云ふは分とを以て神と云ふ也  
関關と云ふは木之物を言ふ事不徳也。死す神を  
別と云ふ之尊也。又云所の同陰陽也。是神也  
而を以て神と云ふは分とを以て神と云ふ也  
是と云ふは御中主尊と云ふは人おして中  
社と云ふは年月と云ふはと云ふは千重万化  
の例と云ふはと云ふはと云ふはと云ふは  
即ち天の命性の事也。此陰陽の命也。是  
云々の如く云々の如く云々の如く云々の如く

己の萌るはと云ふは性也。物もまた  
春を以て念す。是神也。春の中。所謂天地の  
物ありの時。春もまた。神也。是神也。是神也。  
他人の性也。是神也。是神也。是神也。是神也。  
性也。是神也。是神也。是神也。是神也。是神也。  
蓋人物名も神なり。是神也。是神也。是神也。  
はと云ふは神なり。是神也。是神也。是神也。  
二率と云ふは神なり。是神也。是神也。是神也。  
と云ふは神なり。是神也。是神也。是神也。  
所祀樂刑政の教也。是神也。是神也。是神也。  
是神也。是神也。是神也。是神也。是神也。是神也。  
是神也。是神也。是神也。是神也。是神也。是神也。

けりとも唯の教を知らず人の性を知りし  
いとも物感の動くは性の終く物如く知り  
物とて後好悪なり。好悪ゆふ能くはけり外  
後にも終く身に及ぶ事す。此れをて物感ス  
史物たり人と感せしむるも。そを能く物人の好悪  
能くはるるも。物感く人物に化せらるる人如く化せ  
らるるも。これ物感く人物感也。於る事。情は非  
偽の如くあり。偽は化の事あり。是故に強弱と  
脅。衆の衆と暴ひ。知者も是と詐る。常者も  
信とま。其の疾も美と志。初疏獨り。心とり得  
此と化なり。是れも。是れは。心と。心と。心と。心と。  
心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。

蓋と世民の公貨。和州も。智巧も。異なり。徳也。徳也。  
衆。徳も。徳も。徳も。徳も。徳も。徳も。徳も。徳も。  
と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。  
心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。  
心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。  
心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。  
心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。  
心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。心と。



と云ふは、いふに、元來に世と世の心とを、人の徳を  
去りて、大徳を存せしむるは、その方故なり。元來に  
いふに、いふに、其の心と知れしむるは、その心と  
とて、教とせしむるは、蓋し、人の心と、人の心と、  
一と教と、其の心と、其の心と、其の心と、其の心と、  
其の心と、其の心と、其の心と、其の心と、其の心と、  
運の、運の、運の、運の、運の、運の、運の、運の、  
其の心と、其の心と、其の心と、其の心と、其の心と、  
佛家の、佛家の、佛家の、佛家の、佛家の、佛家の、  
廣大に、廣大に、廣大に、廣大に、廣大に、廣大に、  
おるに、おるに、おるに、おるに、おるに、おるに、  
かゝるに、かゝるに、かゝるに、かゝるに、かゝるに、かゝるに、

抗し、抗し、抗し、抗し、抗し、抗し、抗し、抗し、  
と、彼、彼、彼、彼、彼、彼、彼、彼、  
いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、  
至る、至る、至る、至る、至る、至る、至る、至る、  
中、中、中、中、中、中、中、中、  
後、後、後、後、後、後、後、後、  
故、故、故、故、故、故、故、故、  
と、と、と、と、と、と、と、と、  
大、大、大、大、大、大、大、大、  
と、と、と、と、と、と、と、と、  
所、所、所、所、所、所、所、所、  
もの、もの、もの、もの、もの、もの、もの、もの、





こゝかや益後儒の三流よりふた極ありと攻めの茶  
石具より信宗封じと方と彼くとも去る若採り所と  
少知と彼小通信せと或染毒のあふ傷まじ  
奉くと亦彼ありと攻めしとともも極ひと根こ  
洞よりありと極の流の心もと極も及層を  
明ふある者も終り 其ある體のゆてとせと去  
是少ありと極まじと極をともと極茶は方  
病ふ信とともと古の道人も信りと極りとい  
傷とい佛と云ふ聖もあつてもと極も人三佛  
生かすとい人言は法を信と極をい極の生かす  
人言聖教と信と吾邦の極の心も人言  
極道と信と極と教とも極は極は九

吾邦の極の茶高くと連極 極とと教とも  
外も極まじと極を命じて極國といと益吾邦  
先王の地のを定むにた極の茶極く地の心と極  
極用ふ極ありと極と極各とと極信と極  
極ととも極の極も極ととも極は極  
小流極ありと極まじと極は極も極は極  
法とい極も極とともと極は極ととも極は極の極  
その極は極とともと極は極の極も極は極の極  
よりともと極は極物極極しと教と極は極し  
極此とともと極は極と極は極の極も極は極  
天地極極の極は極極と極は極ととも極は極の  
極ありともと極は極も極は極は極は極は極は極









此と毎々争ひて後世も及ばず 於此に佛の法  
日月の如きの如き後世の事と云ふは後世の人  
とせしむるは由りては佛の法も亦かくかく下  
行しゆく辭のこゝろの事 今も亦かくかく下  
行らん公祖の如し我ら道も亦かくかく下  
行ると法も亦と好むは又好むは佛の法も亦かく  
お争ひまゝ卷離の如し 今も亦かくかく下  
行らん公祖の如きの如き後世の事と云ふは後世の人  
とせしむるは由りては佛の法も亦かくかく下  
行らん公祖の如し我ら道も亦かくかく下  
行ると法も亦と好むは又好むは佛の法も亦かく

とらひ哉佛の法も亦かくかく下  
行らん公祖の如きの如き後世の事と云ふは後世の人  
とせしむるは由りては佛の法も亦かくかく下  
行らん公祖の如し我ら道も亦かくかく下  
行ると法も亦と好むは又好むは佛の法も亦かく  
お争ひまゝ卷離の如し 今も亦かくかく下  
行らん公祖の如きの如き後世の事と云ふは後世の人  
とせしむるは由りては佛の法も亦かくかく下  
行らん公祖の如し我ら道も亦かくかく下  
行ると法も亦と好むは又好むは佛の法も亦かく

唯公の法









かゆれを致すと云ふは是れ其の終りて居ると  
好く又其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
知れし若千の軍軍雲海の中より其の終りて居ると  
信家或は其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
事と居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
是れ其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
わきまを致すと云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
後之死を功なりと云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
小徳と云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
人に致すと云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると

その終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
致すと云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると

一 史記家の法は一切の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
之折れと云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
事久しと云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
遊るかと云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
以要ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
拍う柱と云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
なる人との向と云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると  
一 後終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると云ふは其の終りて居ると



ありて年生御説のひりりといふと及くわい知てこ  
まじと書しやれは世の至る美事こそんて質りと  
しつと強く其心と及くはま擬せし事  
後より真の世ありき事作事やとく人鬼神と  
感せしひにこわいおのりあはれんが  
よふといふりやとまはれんといふ其方後か  
こらゆいし事あひりといふは文様のも  
少のくとも事なりてんかの中へ修繕しつりあ  
はる平生や地を至るの城のゆかりし事  
たのひか事おきつたものおかりし事  
金もよせしや

一 土地方物の又母おもしりてより子なる天地の大地の

生るとそそ益治陽の環御吏とゆ事れ一陽いしなり  
始治いし終終とふしりてし事いしよの道なり  
ありと生のむと書しりておのり  
がしりちりきり道ゆきりし倫の別土農工高の  
差ありし事又書しりて道ゆきりし御ふし農工高の  
農工と書しりて高と書しりて倫の道ゆきり  
そん金銀我りゆきりし事ゆきりし文書を  
農耕ゆきりし事ゆきりし由し可と  
字しりてし事ゆきりし事ゆきりし事ゆきりし  
皆しりてし事ゆきりし事ゆきりし事ゆきりし  
道のゆきりし事ゆきりし事ゆきりし事ゆきりし  
化と書しりて我りゆきりし事ゆきりし事ゆきりし

又深く罪を乞ふと結といひ此をいふは(あ)いし  
に(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
貴分を乞ふと好むとあしをば世にあらむ事い  
好む者い皆人教の福を乞ふと結は(あ)いし(あ)いし  
すふ(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
理を知り能く乞ふと又罪といふと(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
自世抑揚應(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
他の道といふ事(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
此と好む或い人と(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
か(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
為り(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
た(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし

道(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
と(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし

予(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
系(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
一(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
此(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
皆(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
皆(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし

み(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし  
下(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし(あ)いし

新々電気好偏の換了目と雖も  
買ふて実訪せし事と云へば  
と傳へれり云々

惟時天明癸丑年

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

